

## 「小学校・中学校の連携の強化と、授業参観 および意見交換を通じた系統的な教育のあり方の工夫」

### I 主題設定の理由

これまで、授業参観等を通して、具体的な児童生徒の様子を話題としながら、児童生徒の学習課題・生活課題について話し合うことで、小・中学校の連携のあり方について探ってきた。

今年度も、これまでの研究をもとに、小・中学校連携の意義の確認と児童生徒が抱える様々な教育課題について、ともに考えることで、児童生徒のよりよい成長を目指していきたいと考え、このテーマを設定した。また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携も図りながら、系統的な教育のあり方について考えていきたい。

### II 研究内容

#### 1. 第1回ブロック研究交流会

(1) 日時 2015年8月7日(金) 午後1時30分から

(2) 会場 景德院

(3) 内容

##### ①臨地研修

・大和地区の歴史を知る。 講師 天野昌明さん(大和公民館 館長)

##### ②研究討議

- ・今年度の研究テーマについて
- ・今年度の活動計画について
- ・大和小学校より「聞くスキル・話すスキル」の実践の紹介

#### 2. 第2回ブロック研究交流会

(1) 日時 2015年11月11日(水) 午後2時10分から

(2) 会場 大和中学校

(3) 内容

##### ①大和中学校授業参観

・中学校1、2年生合同体育 授業者 小石澤重人 教諭

##### ②研究討議

- ・小学校・中学校の校内研修について
- ・授業についての研究討議
- ・小中の情報交換

### 3. 第3回ブロック研究交流会

(1) 日時 2016年1月20日(水) 午後2時10分から

(2) 会場 大和小学校

(3) 内容

#### ①大和小学校授業参観

- ・小学校6年生外国語活動 授業者 田邊博幸 教諭  
ルーク・シムズ先生(ALT)
- ・小学校1年生算数科授業 授業者 鈴木奈津美 教諭

#### ②研究討議

- ・小学校の英語活動について
- ・授業についての研究討議
- ・小学校6年生の様子について

## Ⅲ 成果と課題

### 1. 成果

- ・夏の臨地研修では、地域についての学習会で大和地区の勉強ができてよかった。
- ・中学校の授業参観では合同体育だったため、中学1年生と中学2年生の2学年の様子がみられてよかった。また今年度の小学校の授業参観でも、小学6年生だけでなく、小学1年生の授業を受ける様子を見ることができ、小学校の新たな一面を見ることができてよかった。
- ・臨地研修や相互の授業参観を通じて、小中の教職員が交流できて良かった。
- ・小中の連携を進める上で、互いに授業観察を行うことで、それぞれの児童生徒の学習活動の様子や、児童生徒の実態を見ることができてよかった。スムーズに小学校から中学校への進学ができるような取り組みがされていると思う。
- ・大和地区の教育課題について、情報交換を行うことで、小中の共通の課題が浮き彫りになったと思う。

### 2. 課題

- ・研究の内容・方法については良かったが、2回目・3回目の授業観察については、通常の授業や、学校の活動に影響がないように、時間設定等を考える必要がある。
- ・小中学校で、同じように「話す・聞く」ということに焦点を置いて研究しているので、小学校6年間、中学校3年間、計9年間とつながりのある研究になるように、教科・学年の学習内容(計画)などをお互いに知ることが大切ではないかと思う。
- ・来年度は、道徳や一つの教科について相互参観し、そのつながりについて考えるような一つの流れをつくった研究もよいのではないかと思う。中学校教員による出張授業や、中学生による小学生との交流なども入れてもよいと思う。

(ブロック長 益田文教)